

会報 シルバー花巻

令和8年10月

第91号



公益社団法人 花巻市シルバー人材センター

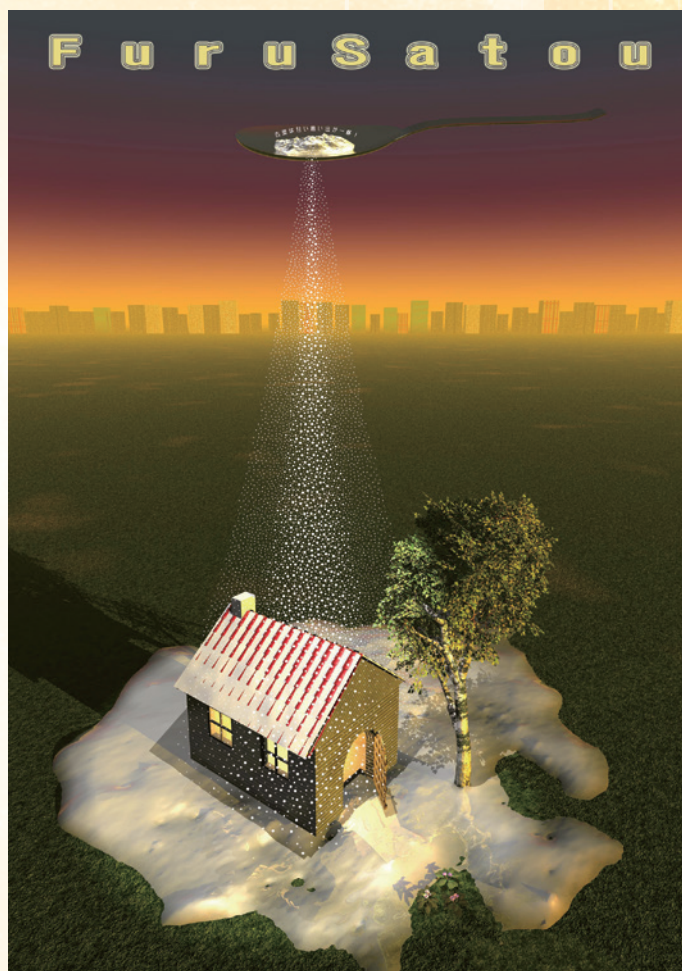
〒025-0055 花巻市南万丁目970番地3

TEL 0198-24-0556

FAX 0198-24-2299

E-mail: silver@mx3.et.tiki.ne.jp

HP: <https://hanamaki-silver.or.jp>



イラスト解説

2枚のポスターは、2006年に世界的なグラフィックデザイナーの福田繁雄（元日本グラフィックデザイナー協会会長）が主管する「FUKUDAポスター大賞」に出品して、優秀賞を受賞した作品です。題材が「ふるさと」でしたので、曲り家や、昔懐かしい風景を描こうと思いましたが、頭の中で、古里→ふるさと→FURUSATO→……→FuruSatou（降る砂糖）というイメージが浮かんできました。そこから雪景色を連想し、マグカップの中に雪を降らせてみました。この作品は、パソコンで作成したコンピューターグラフィックで、雪の一つひとつの大きさを変えながら描いたので、完成までに2ヵ月程要しました。

シルバー人材センターの仕事（公園掃除など）が「ふるさと」の保全に繋がればと思い「シルバー花巻」の表紙に掲載させていただきます。

【イラスト作成・解説 広報委員 藤澤敬悦】

令和8年度 月間安全重点目標

事業・安全対策委員長 菅原 保美



10月

機械器具による 事故防止

点検と操作
未熟または慣れ

特に季節の変わり目に伴う気温の変化などにより、不安定動作が起こり、事故発生の要因となることも考えられますので、健康管理には十分に気を付けるようお願いいたします。

11月

安全確認運転の防止

思い込み運転、
薄暮時間帯での
ライト早め点灯

12月

体調管理

気温変化による
不安定動作



屋外作業の繁忙期も峠を越したとはいえ、安全就業に安心は禁物です。

就業の際は体調・用具・安全管理等十分注意し、万全の体制にて作業することを心がけてください。

清掃奉仕活動のお知らせ

今年度の活動予定日は
次のとおりです。

【本 所】 11月 6日(金)

【東和支所】 11月 21日(土)

※大迫支所は令和9年2月下旬予定。



詳細については改めてご連絡いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



女性会員研修会開催のお知らせ

岩手県シルバー人材センター連合会主催の“女性会員研修会”が、今年は花巻市にて開催となります。

【日 時】 11月17日(火) 13:30~16:00

【場 所】 石鳥谷生涯学習会館

【内 容】

◇アコーディオンの演奏と詩の朗読のコラボレーション
(懐かしの歌と一緒に歌うコーナーもあります)

◇花巻市シルバー人材センターの事例発表
参加を希望される方は事務局までお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしております。

女性委員会 活動報告

令和8年4月に、新しく女性委員会を設置しました。委員会において今後の活動を検討するにあたり、本年は宮沢賢治生誕130年であることから、賢治祭に先立ち、9月17日(木)に宮沢賢治詩碑周辺の清掃奉仕活動(トイレ清掃、除草作業、落葉清掃)を実施しました。



委員10名のほかに、3名の会員の方々にご参加いただきました。当日は天候にも恵まれ、1時間程の作業で見違えるように綺麗になりました。参加いただきました皆様、ありがとうございました😊

女性委員会では、今後も、女性会員の拡大、就業機会の開拓・拡大を目指し、委員一丸となってイベントの企画等様々な活動に取り組んでまいります。

新規サークル立ち上げのお知らせ

手芸サークル

活動日時：未定

場 所：シルバーワークプラザ

※材料費のみ別途頂戴いたします。

♥参加会員募集中♥

少しでも興味のある方は、事務局までお問い合わせください😊

一緒に小物
作りを楽しみ
ませんか？



代表：
佐々木幸子会員



～海と川の流木彫刻～

2011年3月12日、東日本大震災の翌日に、その当時の自宅から近い、千葉県富津市の海岸に行きました。すると、東京湾にも巨大津波の爪痕が残されており、海岸にはたくさんの物が打ち上げられていました。その中に20センチにも満たない流木を見つけ手に取りました。なんの変哲もない流木でしたが、その日の私には赤子を背負った母子像に見え、それが流木彫刻の第一作となりました。

2014年に大迫町にUターンしました。岩手県は海岸での流木採取が難しく、それからはダムに流れ込む流木の提供を受けて作品づくりを続けています。

ダムでは厄介ものにされている流木に、新たな生命を宿らせるのです。どこまでが流木そのものの自然な姿で、どこからが彫刻なのかわからないところが楽しいです。自然が生んだ造形美、言わば他力本願作品になります。

今年の作品は、6月に行われた「岩手県長寿文化祭」に出展し優秀賞となったことから、11月の埼玉県立近代美術館で開催される、「ねんりんピック彩の国さいたま2026」に岩手県代表作品として出品します。

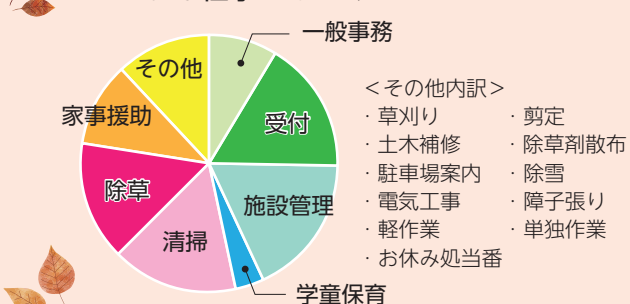


アンケート結果報告

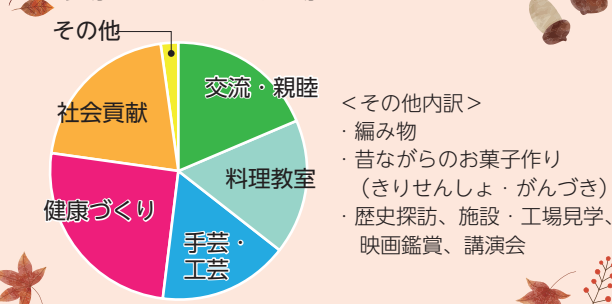


今後のセンター運営の参考とするため、6月に全会員を対象とした簡単なアンケートを実施しました。センターでの仕事並びにその他の活動への意識について調査することで、センターに対する満足度を上げ、会員増加を目指すことを目的としています。男性56名、女性63名（60歳未満3名、60歳代18名、70歳代79名、80歳以上18名、無回答1名）の会員様にご回答いただきました。このアンケートにおいて調査したのは主に、①どのような仕事をしてみたいか、②今後参加してみたいセンターでの活動、③会員増加に向けての期待するキャンペーン、についてです。

どのような仕事をしてみたいか



参加してみたい活動



①どのような仕事をしてみたいか、という問いに対しては、施設管理が18.3%、受付が16.6%、清掃が16.0%と高く、②今後参加してみたいセンターでの活動については、健康づくりが26.0%、社会貢献が21.4%、交流・親睦イベントが18.8%という結果が得られました。③会員増加に向けての期待するキャンペーンについては、80歳以上会費無料が47.4%と最も高いことがわかりました。他にもご意見として、「会員クラウドサービスのお仕事検索機能を活用してほしい」や、「他のシルバー人材センターと交流の機会がほしい」、「仕事以外にも様々な活動に積極的に参加したい」、「交通安全などの講習を実施してほしい」等のお声を頂戴いたしました。

この結果を、今後のセンター運営やイベント企画等に役立ててまいります。アンケートにご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

クローズアップシルバー

女性会員
特集

①入会の動機 ②入会後の感想 ③現在の仕事の内容 ④趣味

照井 智江子 さん(67歳) 花西第1班



- ① 本所の清掃担当の人が辞めるため、本人から依頼があり、すぐに入会しました。
- ② いろんな方と話ができて楽しいです。特に生活援助の仕事で行っている95歳の利用者様とお話はとても勉強になります。
- ③ 公園のトイレ清掃（2ヶ所）、日常生活援助の仕事をしています。他にも、花の水やりの仕事もあります。
- ④ 6年前にスコップ三味線を見て、自分もやってみたいと思い、始めました。他にも、ガーデニングが好きで、紫陽花・マリーゴールド・朝顔・バラ・サフィニア・ブルーベリー・ミニトマトを育てています。

鈴木 恵保子 さん(66歳) 好地班



- ① 主人の会社勤めが終わり、毎日何もしないで過ごすようになりました。無理なく体を動かす仕事でもあればと思っているときにシルバー人材センターの仕事内容を知り、草取りが好きなので入会してみようと思いました。
- ② 色んな人と交わり、話を聞きながら手を動かすのが楽しく仕事も面白いです。先輩の会員さんが色々教えてくれて、数人で作業できるのが好きです。
- ③ 草取りやお墓の掃除、室内の片付け作業や軽作業です。
- ④ 6年前に運動不足を感じていたとき、有酸素運動にボウリングが良いと知りました。毎週、盛岡のボウリング場の教室に通い、チームでのゲーム試合を通して健康を維持しています。

伊藤 つき子 さん(65歳) 大迫第1班



- ① 空き時間ができたので、会員から誘われました。
- ② 自分のできる仕事を選べるし、無理な時間は断ることができるので、身体や家庭の都合を優先し、楽に仕事することができています。
- ③ 早池峰山のシャトルバス運行の登山案内や切符の販売補助をしています。県外の登山者と会話することが楽しいです。その他は公共施設等の掃除を少し行なっています。
- ④ 庭いじりと家の周りの畑での野菜作り、お菓子作り。近所に配って喜ばれています。

高橋 美千代 さん(74歳) 土沢第2班



- ① シルバー会員の同級生の勧誘で、少しは仕事をしたいと思っていたので入会しました。
- ② よその家の仕事（草取りや日常生活の支援など）は、やったことがなかったので少し不安でしたが、「ありがとう」と感謝される仕事だったので、これからも続けていけそうです。また、決まった時間に仕事をするので、規則正しい生活を送ることができ、良いことだと思っています。
- ③ 東和コミュニティセンターや東和福祉センターの清掃、草取り、介護予防・生活支援事業などの仕事をしています。
- ④ 読書（佐藤愛子の作風が好き）や家庭菜園、庭木の手入れなど。

＼おがさんの/ 交通安全のお話

その6
最終回

小笠原 正雄さん(好地班)



高齢者の事故でよく聞くのが、「ブレーキとアクセルを間違えて踏んだ」「信号は見ていたけど」…。ブレーキとアクセルの間違いは一瞬パニックになってしまうときに起きます。急のつく動作をしないことが大事です。「信号は見ていたけれど」は漠然と見ていた、信号の青、黄色、赤の意味はみんなよく知っているのに、ブレーキを踏んで減速までの動作が途中で途切れてしまう。高齢者によくある状態で、大きな事故になる要素を含んでいます。事故は「よく通る道」や「自宅の近く」で発生することが多いと言われています。緊張が緩み、漠然と運転している状態です。ハンドルを握ったら、目的地に着くまで気を緩めないでください。体調を整えて、無事故・無違反を続けましょう。

おがさんの交通安全のお話は今回が最終回です。お読みいただきありがとうございました。